

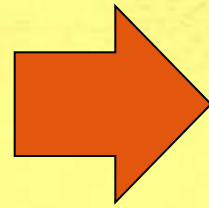
# 小田原のエネルギーの現状



小田原市環境部環境政策課

# エネルギー消費の形態

- 電気
- ガス(天然ガス、プロパンガス..)
- 石油製品(ガソリン、軽油、灯油..)



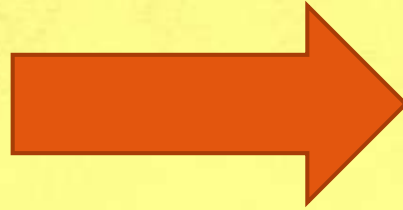
- 冷暖房
- 照明
- テレビ・冷蔵庫など家電製品
- 調理
- 給湯
- 自動車 など



さまざまな形態でエネルギーは消費される

# 電力消費量

## 小田原市内の家庭向け電力消費量(平成22年度)



4.5億kWh

\* 産業向けを加えると約13.4億kWh

市民1人あたり

2,269kWh

(参考)

◆全国平均(1人あたり) 2,376kWh

◆県内平均(1人あたり) 2,045kWh

\* 市内・県内電力消費量は小田原市環境政策課による推計値

# CO<sub>2</sub>排出量

小田原市内のCO<sub>2</sub>排出量  
(平成21年度確定値)

約105万トン



市民1人あたり  
5.3トン

(参考)

- ◆全国平均(1人あたり) 9.8トン(H22速報値)
- ◆県内平均(1人あたり) 7.6トン(H21確定値)

# 市内の再生可能エネルギー導入の現状

①太陽光発電

②太陽熱利用

③バイオマス利用（BDF等）

については、導入実績あり。

その他については、実績がないか、あっても極めて小さい導入量と推測。

# 家庭用太陽光発電システム導入の実績

1, 283か所  
設備容量4, 723kW  
年間期待発電量  
4, 723千kWh  
(平成22年度末)



1戸建て住宅普及率 2. 85%

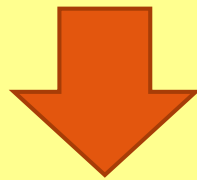
家庭向け電力消費量に占める割合1. 05%

(参考)

- ◆日本全体の普及率 3. 3%(H21)
- ◆神奈川県普及率 2. 3%(H21)

# 方向性

- 未利用の再生可能エネルギー源をどのようにして持続的に生み出してしていくかが課題。
- 課題は多いが、再生可能エネルギーの開発は、地域に資金循環と雇用を生み出す可能性あり。これを実現するためには、民間と行政が協働する仕組みの構築が必要。



小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会での検討に着手(H23.12～)